

## 26 よもぎだけ 蓬田岳

952m

福島県

伊東敬子



蓬田岳は郡山の東方に端正なピラミダルな山容で聳え、昔から信仰の山として親しまれている。

郡山市と須賀川市の境界にあり阿武隈山地の中央に位置し、古くから阿武隈の名峰と言われている。緩やかな裾野を広げてキク科の多年草のヨモギが沢山自生していることが山名の由来である。

登山口は蓬田新田口、沢又口、田母神口の3ヶ所があるが、田母神コースはヤブが深く一般向きではない。

JR郡山駅から福島交通蓬田行きに乗り目的地近くで下車（一日6本運行1330円）1時間ほどで着く。

新田口コースは下新田で下車。看板に従って西に伸びる道を進み、徒歩10分ほどで石の鳥居に出る。両側に松並木が続き、しばらく進むと樹林帯に入り道幅も狭くなって登山道らしくなる。すぐに小沢に出合い水を補給するとよい。

やがて周囲は雑木林となり、両側は杉並木になって参道の面影が残っている。尾根に向かって一直線に延びて急な登りとなるが、時々大石があって単調な登りに変化もあり尾根に出たところで、沢又口と合流し雑木林の明るい稜線を辿ると山頂の一角に着く。

菅船神社（菅布祢神社）が建ち、小さいが立派なお社で、日本武尊<sup>やまとたけるのみこと</sup>、猿田彦命<sup>さるたひのみこと</sup>が祀られ、農民の尊崇と信仰を仰いでいる様子が窺える。日本武尊が奥羽征伐の際、蓬田岳に住む水鬼、風鬼、という賊を平定した時に、それを祝して建てられたものという。お社の脇を通り抜けると一等三角点のある蓬田岳の山頂に出る。

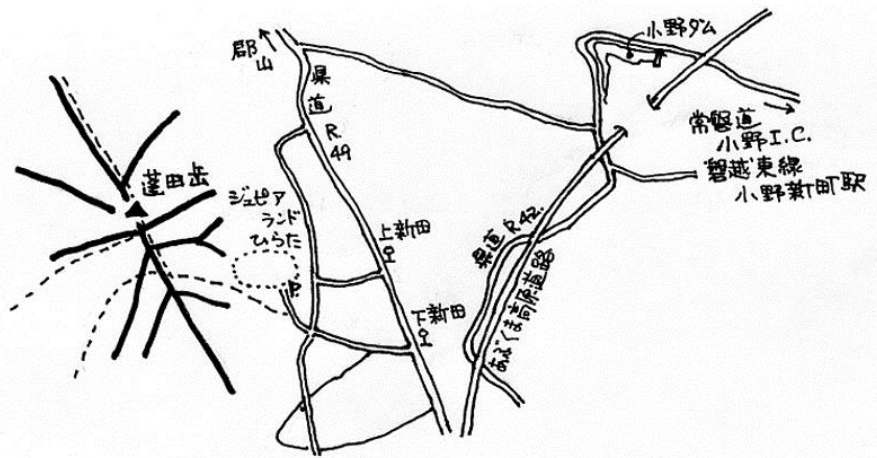
ゆっくり歩いて1時間半ほどで山頂についたが、生憎、かすんで四方の山々がはっきりしなかった。快晴であれば太平洋を望み、那須連峰、吾妻連峰などが見渡せる。

雑木林の尾根歩きは蓬田岳の魅力であるが、ツツジが咲く5月下旬ごろは華やかで、秋の紅葉の季節は風情があって充分楽しめる手頃なコースである。

田母神登山口は前記のバスで田母神で下車、ガソリンスタンドの脇の道を南に進むと

雑木林に入り、しばらく進むと田母神登山口がある。2、3台駐車スペースもある。

沢又登山口はマイカーのみで銭神集落を目指し、七曲がり坂を登りきった道路左側に登山口の小さな看板があるが、分かりにくいのでこ



のコースはあまりお勧めできない。

山名の由来の蓬は古来「魔除草」と呼ばれ、高さ1mになる。浄血作用があり血液をさらさらにアレルギーや高血圧低下など、その他お餅に入れて香りも楽しみ、成長した葉はお灸の「もぐさ」に使用している。

山麓のキャンプ場「ジュピアランドひらた」は16.7ヘクタールの自然公園。初夏には10万本の芝桜が斜面一面に咲き競いピンク、紅、白の絨毯を敷き詰めたように見事で圧巻、多くの家族連れが訪れる。

毎年5月初旬から下旬頃まで芝桜まつりが開催されるが2011年の芝桜まつりは中止された。大震災で被災された方々が一日も早く復興し、美しく咲き誇る芝桜で心が癒される日が来るよう願っている。

二万五千円：田母神

問い合わせ先：平田村役場 0247-55-3111

交通機関：福島交通郡山支所0249-44-5400